

【近江医学郷土史料展示が新しくなりました】

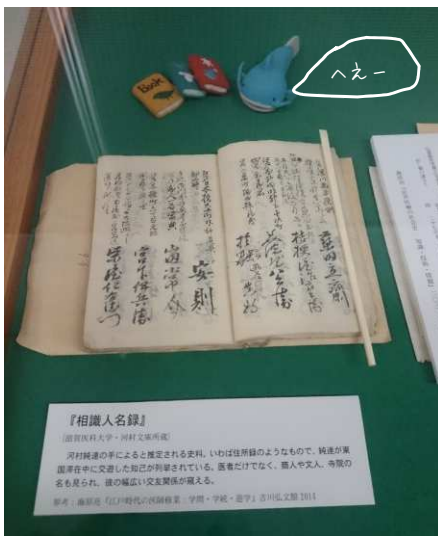


当館には、密かに「河村文庫」と「守一堂(しゅいちどう)文庫」というお宝史料が所蔵されています。

「河村文庫」は幕末期に彦根藩医を務めた河村家から、「守一堂文庫」は近江八幡で代々医業を営んでいた安倍家から、それぞれご寄贈いただいた貴重な史料です。

これら古医書・古書・医療器具など2,500点に及ぶ史料のうちの一部を本学メディカルミュージアムや当館内に展示しているのですが、このたび館内の展示史料の入れ替えを行い、キャプションも新しくリニューアルいたしました。

“生”の歴史史料を、ぜひ間近にご覧ください！

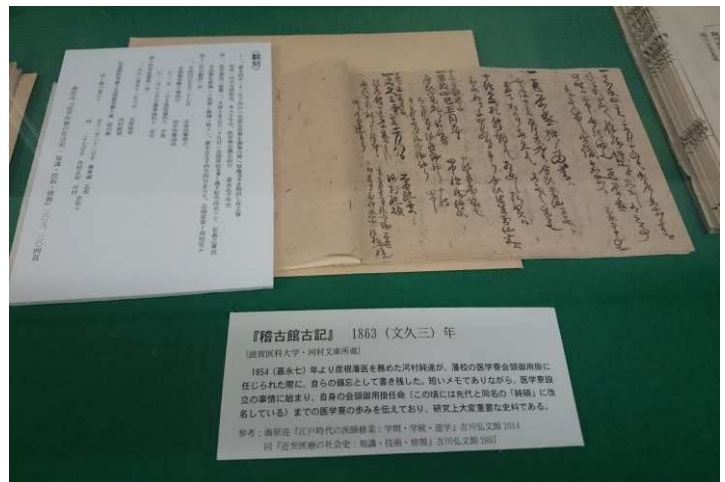


『相識人名録』

(滋賀医科大学・河村文庫所蔵)

河村純遠の手によると推定される史料。いわば住所録のようなもので、純遠が東国津中に交遊した知己が列挙されている。医者だけでなく、商人や文人、寺僧の名も見られ、縁の幅広い交友関係が窺える。

参考：高橋浩『江戸時代の医師録業：字間・字祝・虚字』吉川弘文館 2014



『稽古館古記』 1863(文久三)年

(滋賀医科大学・河村文庫所蔵)

1854(嘉永七)年より彦根藩医を務めた河村純遠が、藩校の医学研究会顧問に任じられた際に、自らの観念として著された。拙いメモでありながら、医学堂設立の事情に始まり、自身の会館副館長任命(この頃には先代と同名の「純遠」に改名している)までの医学者の歩みを伝えており、研究上大変重要な史料である。

参考：高橋浩『江戸時代の医師録業：字間・字祝・虚字』吉川弘文館 2014
同『江戸医界の社会史：知識・技術・権威』吉川弘文館 2007

『隧穴啓蒙』

↓ 人体がまるで地図みたいです



『隧穴啓蒙』 編譯者 1831(天保二)年

(滋賀医科大学・河村文庫所蔵)

東洋館蔵(生年不明)は医学書として、医学書院蔵で小冊品(1冊)と訂正、小冊品、漢書、蘭学書院蔵に、『蘭語訳』(註、江戸初期の蘭学書院蔵)である『子蘭語訳』と誤植として、両行を並べて掲載するとの記載がある。

蘭学書院蔵(東洋館蔵)は医学書院蔵の複製本で、これより正確に複製している。これは蘭学書院蔵の複製本で、『蘭語訳』(註)の複製本である。この複製本は、江戸時代の複製本である。

参考：高橋浩『江戸時代の医師録業：字間・字祝・虚字』吉川弘文館 2014

人気史料！『稽古館古記』↑

これらの史料は「滋賀医科大学近江医学郷土史料電子文庫」として、ウェブサイトで公開されています。そちらもぜひご覧ください。

附属図書館ホームページ > 資料検索 から
または以下URLからどうぞ。

http://www.shiga-med.ac.jp/library/med_his/index.html

【図書館バイトのおすすめ本 Vol.4】

図書館でアルバイトをしている学生におすすめの本を教えてください。このコーナーも4回目を迎えました。今回は5年生のKさんが、夏休みにぴったりな本を紹介してくれましたよ♪
近々図書館にも入荷予定です。お楽しみに～



「旅のラゴス」

筒井 康隆 著 / 新潮文庫 刊

みなさん筒井康隆という作家をご存じでしょうか？

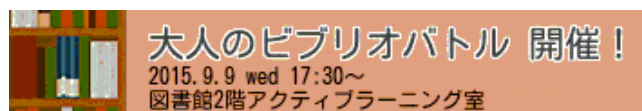
「時をかける少女」、「笑うな」、「パプリカ」などの作品で知られる、SF作家さんです。今回、数ある作品の中でも長い間根強い人気を持ち続ける「旅のラゴス」についてご紹介します。物語自体は、主人公ラゴスが生涯をかけて世界中を旅し、地元に戻ってくるだけのお話です。しかし、そこにSFの要素がうまく絡み合い、読んでいてすごく引き込まれるというか、不思議な魅力がある物語になっています。

旅とはなんでしょう。これには人それぞれの答えがあると思います。ある人にとっては自分を振り返れる機会であるかもしれませんが、またある人にとっては現実逃避であるかもしれません。旅とは人生そのものだという人もいます。

この本を通して、自分にとっての「旅」を考え、これまでの人生を振り返ってみる良い機会になると思います。また、そんなに深く考えなくても、自分もラゴスと一緒に旅に出ている気分で楽しく読める本にもなっています。

それほど分厚い本でもなく、手軽に読めるのでぜひぜひ一度読んでみてください！

【「大人のビブリオバトル」を 開催します】



「大人のビブリオバトル」を下記の通り開催します。

- 日 時:9月9日(水)17:30～18:40
- 会 場:附属図書館2階 アクティブラーニング室
- 発 表 者:本学の院生・教職員(5-6名)
- 観 戦 者:どなたでも



「ビブリオバトル」とは、発表者(バトルー)がおすすめの本1冊を用意して集まった人たちに紹介し、参加者全員による投票で「一番読みたくなった本」を決める書評ゲームです。

記念すべき第1回目の今回は、発表者を院生・教職員に限定し、「大人のビブリオバトル」として開催することとなりました。

観戦は自由、申込みも不要です。お気軽にお越しください！

<http://www.shiga-med.ac.jp/library/guest/bibliobattle.html>